



システム メッセージの概要

このマニュアルでは、Catalyst 2960 固有のシステム メッセージについて説明します。これらのメッセージは稼働中、システム ソフトウェアからコンソール（および任意で別のシステムのロギングサーバ）に送信されます。すべてのシステム メッセージがシステムの問題を意味するわけではありません。純粋に通知目的のメッセージもあれば、通信回線、内蔵ハードウェア、またはシステム ソフトウェアの問題を診断するうえで役立つメッセージもあります。このマニュアルでは、システムで障害が発生した場合に表示されるエラー メッセージについても説明します。

Catalyst 2960 プラットフォーム固有ではないシステム メッセージについては、*Cisco IOS Release 12.2S* に対応する『*Cisco IOS Software System Messages*』を参照してください。

この章の内容は次のとおりです。

- システム メッセージの読み方 (p.1-2)
- エラー メッセージ トレースバック レポート (p.1-5)

システムメッセージの読み方

システムログメッセージは最大 80 文字と 1 つのパーセント記号 (%) で構成され、設定されている場合にはその前に、オプションとしてシーケンス番号またはタイムスタンプ情報が付加されます。メッセージは次の形式で表示されます。

シーケンス番号: タイムスタンプ: % ファシリティ - 重大度 - ニーモニック: 記述

システムメッセージ出力はデフォルトで、ロギングプロセスに送信されます。

各システムメッセージはパーセント記号 (%) から始まります。構造は次のとおりです。

% ファシリティ - 重大度 - ニーモニック: メッセージテキスト

- ファシリティは 2 つ以上の大文字からなるコードで、メッセージによって参照されたファシリティを示します。ファシリティはハードウェア デバイス、プロトコル、またはシステムソフトウェア モジュールのいずれかを指します。表 1-1 に、Catalyst 2960 固有のファシリティコードを示します。第 2 章「メッセージおよび回復手順」で、ファシリティコードのアルファベット順、重大度の高い (数字が小さい) エラーから先に、各メッセージについて説明します。

表 1-1 ファシリティコード

ファシリティコード	説明	参照先
ACLMGR	ACL (アクセス制御リスト) マネージャ	「ACLMGR メッセージ」 (p.2-3)
CMP	Cluster Membership Protocol	「CMP メッセージ」 (p.2-7)
DHCP_SNOOPING	DHCP スヌーピング	「DHCP_SNOOPING メッセージ」 (p.2-8)
DOT1X	IEEE 802.1x	「DOT1X メッセージ」 (p.2-11)
DTP	Dynamic Trunking Protocol (DTP)	「DTP メッセージ」 (p.2-16)
EC	EtherChannel	「EC メッセージ」 (p.2-18)
ETHCNTR	イーサネットコントローラ	「ETHCNTR メッセージ」 (p.2-21)
EXPRESS_SETUP	Express Setup	「EXPRESS_SETUP メッセージ」 (p.2-22)
GBIC_SECURITY	GBIC (ギガビット インターフェイス コンバータ) および Small Form-Factor Pluggable (SFP) モジュールセキュリティ	「GBIC_SECURITY メッセージ」 (p.2-23)
GBIC_SECURITY_CRYPT	GBIC および SFP モジュールセキュリティ	「GBIC_SECURITY_CRYPT メッセージ」 (p.2-24)
GBIC_SECURITY_UNIQUE	GBIC および SFP モジュールセキュリティ	「GBIC_SECURITY_UNIQUE メッセージ」 (p.2-25)
HARDWARE	ハードウェア	「HARDWARE メッセージ」 (p.2-26)
HLFM	ローカル フォワーディング マネージャ	「HLFM メッセージ」 (p.2-27)
IDBMAN	インターフェイス記述ブロック マネージャ	「IDBMAN メッセージ」 (p.2-28)
IGMP_QUERIER	Internet Group Management Protocol (IGMP) クエリア	「IGMP_QUERIER メッセージ」 (p.2-31)
ILET	Cisco IOS License Enforcement Test (ILET)	「ILET メッセージ」 (p.2-32)
MAC_LIMIT	MAC (メディア アクセス制御) アドレス テーブル エントリ	「MAC_LIMIT メッセージ」 (p.2-33)
MAC_MOVE	ホスト アクティビティ	「MAC_MOVE メッセージ」 (p.2-33)
PHY	PHY	「PHY メッセージ」 (p.2-34)
PLATFORM	下位レベル プラットフォーム固有	「PLATFORM メッセージ」 (p.2-35)
PLATFORM_PM	プラットフォームのポート マネージャ	「PLATFORM_PM メッセージ」 (p.2-36)

表 1-1 ファシリティコード (続き)

ファシリティコード	説明	参照先
PLATFORM_VLAN	プラットフォームの VLAN (仮想 LAN)	「PLATFORM_VLAN メッセージ」 (p.2-37)
PM	ポート マネージャ	「PM メッセージ」 (p.2-38)
PORT_SECURITY	ポートセキュリティ	「PORT_SECURITY メッセージ」 (p.2-45)
QOSMGR	QoS (サービス品質) マネージャ	「QOSMGR メッセージ」 (p.2-46)
RMON	Remote Monitoring (RMON)	「RMON メッセージ」 (p.2-51)
SPAN	Switched Port Analyzer (SPAN; スイッチドポートアナライザ)	「SPAN メッセージ」 (p.2-51)
SPANTREE	スパニングツリー	「SPANTREE メッセージ」 (p.2-52)
SPANTREE_FAST	スパニングツリー高速コンバージェンス	「SPANTREE_FAST メッセージ」 (p.2-58)
SPANTREE_VLAN_SW	スパニングツリー VLAN スイッチ	「SPANTREE_VLAN_SW メッセージ」 (p.2-58)
STORM_CONTROL	ストーム制御	「STORM_CONTROL メッセージ」 (p.2-59)
SUPERVISOR	スーパーバイザ ASIC (特定用途向け IC)	「SUPERVISOR メッセージ」 (p.2-59)
SUPQ	スーパーバイザ キュー	「SUPQ メッセージ」 (p.2-60)
SW_VLAN	VLAN マネージャ	「SW_VLAN メッセージ」 (p.2-62)
SWITCH_QOS_TB	QoS (サービス品質) 信頼境界	「SWITCH_QOS_TB メッセージ」 (p.2-67)
TCAMMGR	Ternary Content Addressable Memory (TCAM) マネージャ	「TCAMMGR メッセージ」 (p.2-68)
UDLD	UniDirectional Link Detection (UDLD; 単一方方向リンク検出)	「UDLD メッセージ」 (p.2-70)
UFAST_MCAST_SW	UplinkFast パケット転送	「UFAST_MCAST_SW メッセージ」 (p.2-72)
VQPCCLIENT	VLAN Query Protocol (VQP) クライアント	「VQPCCLIENT メッセージ」 (p.2-73)

- 0～7の1桁のコードで、状態の重大度を表します。数字が小さいほど深刻な状況です。表 1-2 に、メッセージの重大度を示します。

表 1-2 メッセージの重大度

重大度	説明
0 — 緊急	システムが使用不可能な状態
1 — アラート	ただちに対応が必要な状態
2 — クリティカル	クリティカルな状態
3 — エラー	エラー状態
4 — 警告	警告状態
5 — 通知	正常だが注意を要する状態
6 — 情報	単なる情報メッセージ
7 — デバッグ	デバッグ時に限り表示されるメッセージ

- ニーモニックは、メッセージを一意に識別するコードです。
- メッセージテキストは状態を説明したテキスト文字列です。メッセージのこの部分には、端末ポート番号、ネットワークアドレス、またはシステムメモリアドレススペースの位置に対応するアドレスなど、イベントの詳細情報が含まれることがあります。この可変フィールドの情報はメッセージごとに異なるので、ここでは角カッコ ([]) で囲んだ短い文字列で示します。たとえば 10 進数は [dec] で表します。表 1-3 に、メッセージの可変フィールドを示します。

表 1-3 メッセージの可変フィールドの表記

表記	情報のタイプ
[dec]	10 進整数
[char]	1 文字
[chars]	文字列
[enet]	イーサネットアドレス (たとえば 0000.FEED.00C0)
[hex]	16 進整数
[inet]	インターネットアドレス

次に、スイッチのシステム メッセージ例 (部分) を示します。

```
00:00:46: %LINK-3-UPDOWN: Interface Port-channel1, changed state to up
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet0/1, changed state to up
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet0/2, changed state to up
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface Vlan1, changed state to down
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface GigabitEthernet0/1, changed
state to down 2
*Mar  1 18:46:11: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2 (10.34.195.36)
18:47:02: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2 (10.34.195.36)
*Mar  1 18:48:50.483 UTC: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2
(10.34.195.36)
```

エラー メッセージ トレースバック レポート

メッセージの中には、内部エラーが記述され、トレースバック情報が含まれているものがあります。この情報は非常に重要です。テクニカル サポートの担当者に問題を報告するときに、必ず提出してください。

次のメッセージ例にはトレースバック情報が含まれています。

```
-Process= "Exec", level= 0, pid= 17  
-Traceback= 1A82 1AB4 6378 A072 1054 1860
```

システム メッセージによっては、エラー メッセージをコピーしたうえでさらに対応を要求される場合があります。次のオンライン ツールからシステム エラー メッセージの詳細を得ることもできます。

Output Interpreter

Output Interpreter は、**show tech-support** イネーブル EXEC コマンドなど、さまざまな CLI (コマンドライン インターフェイス) コマンドの出力に基づいて、詳細情報および推奨する対応策を提供します。Output Interpreter には、次の URL からアクセスしてください。

<https://www.cisco.com/cgi-bin/Support/OutputInterpreter/home.pl>

Bug Toolkit

Bug Toolkit は、解決済みまたは未解決の問題点に関する情報を提供します。特定の Cisco IOS リリースで既知のバグをすべて検索できます。Bug Toolkit には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/home.pl>

TAC への連絡

エラーの種類を特定することができない場合は、「[テクニカル サポート](#)」(p.x) を参照してください。

